

1 学期始業式

校長 栢倉 和則

新しい年度の始まりです。今年こそは、コロナも収まって精いっぱい活動できる・・・そんな年になることを願ってやみません。

そんな期待に胸を膨らませながら、3月の学校通信「公孫樹」にも「変化を恐れてはいけない」と書きました。変化というと世の中には、「変わる事」自体が素晴らしいことと考えるような風潮がありますが、私はその立場を取るではありません。変化至上主義は、現在を否定することにつながるからです。私はただ、変わることを恐れて縮こまっていたはいけないと言いたいのです。

この二年間、ほとんどの学校でコロナ対応のため、授業のオンライン化、行事の延期や中止、また実施方法や形態の変更など、さまざまな制約が課せられてきました。思いっきり活動できないもどかしさや不満を感じたことと思います。これによってそれまで継承されてきた文化が途絶えてしまったわけです。合唱コンクールや記念祭、体育祭など大きな行事の担当を決めて「やれ」と言われても行事委員は困るでしょう。中学校でも行事を経験していないわけですから。そういう細かな部分について、変化を恐れてはいけない、いや変わっていいんだという意味です。

さて、SDGsも耳慣れたことばになっています。Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」と訳されます。より良い世界を実現するために2030年までに達成を目指す国際目標のことで、2015年にニューヨーク国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」で提案されました。全部で17の目標があり、それぞれの目標を達成することで、すべての人にとって生きやすい世の中、暮らしやすい環境が実現するとされています。…とここまででは、おそらく皆さんも承知のことかと思います。

では、これを豊多摩高校に当てはめてみたら、どうでしょうか。よりよい豊多摩を築き、さらに後世に引き継ぐために何が求められるのでしょうか。何を目標とすべきでしょうか。17とは言いませんが、いくつの目標ができるでしょうか。そのために、何ができるでしょうか。よく言われることですが、目標があるから努力ができる。皆さんと、いろいろと意見を交わしたいところです。

一方で、豊多摩の自主・自律や文武両道の精神など、幹の部分、すなわち、豊多摩の

DNA はしっかりと残すべきだと考えています。それは、すべての学友たちが、伸びやかに大らかに、あらゆる分野で努力を惜しまず、全力を尽くすことだと思います。いかにコロナが人々の価値観を大きく変えたとしても、我々は豊多摩の DNA を失ってはいない。

新年度を迎えるにあたって、このことを学友一人一人が、自分のこととして考え、目標をもって実現のために努力していただきたいと思います。

「努力」にまつわる言葉を紹介しておきます。

「誰にも負けない努力」を続けない限り、大きな成果は期待できない。人並み以上の努力をせずに、大きな成功を取めるということは絶対はない。(稲盛和夫)京セラ、KDDIの創始者です。

「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうだと思う」(イチロー)イチロー選手のあまりに見事な力の抜けたスイングやプレイぶりを天才と称する人が多かったのです。この言葉は明らかにエジソンの言葉をふまえているように思われます。

Genius is one percent inspiration and ninety-nine percent perspiration.

Thomas Edison

天才とは1%のひらめきと99%の汗である。

perspiration は文字通りの意味は汗ですが「努力」をあらわす単語として使われています。inspiration と perspiration が韻を踏んでいるわけですね。汗は、一般的に sweat という語もありますが、プンポン匂ってきそうということなのではないでしょうか。perspirationの方が上品な感じとも言われます。

他に努力を表す語としては

effort 「努力」一般的な語

endeavor 「真剣で持続的な努力」発音アクセント注意

hard work 「勤勉、一生懸命やること」口語的ですね

exertion 「体力・精神力を極度に消耗するような努力」

たとえどんなタイプの努力であっても、そして努力の対象が部活動、学校行事、勉強、そして進路実現など、何であったとしても、ご自身の目標に向かって努力を継続していただくことを願っています。

みなさんの学校での活動が増えるにつれ、新型コロナ感染への意識や関心も低下しているのではないかと思います。まん延防止重点措置が解除されてからも、実は新規感染者の数は減る一方とは言えません。むしろ増えている日も多い。まん防が終わり、学校行事等が緩和されたからといって、すべてのことがオープンになったわけではありません。むしろ、このような時期だからこそリバウンドしないように、これまで以上に対策を徹底していかねばなりません。

3月に、複数の都立高校で球技大会の実施に起因すると考えられる陽性者が多数出たことが報告されています。同じボールを多くの生徒が触る競技であるにもかかわらず、ボールの消毒を行っていなかった。教員は、マスクの着用、密回避、声出し応援の制止の指導を行っていたが、会場における手指消毒等が徹底できていなかった。・・・などの問題点が指摘されています。みなさんの活動を保障するのは、みなさんの意識と行動であることを今一度、覚えてください。健康観察と Classi の入力を忘れずをお願いします。

明日は新一年生が入学してきます。部活動や学友会などで、新入生のご指導もよろしくお願いします。皆さんが豊多摩の DNA を守って、飽くなき努力を継続できることを期待しています。

それでは、新しい年度の皆さんのご活躍を願って、Touch the Sky!